

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）  
セッション討議内容の記録

セッション名：計画基礎論（1）	
日付：11月 21日（土）曜日、セッション時間：9:00～10:45	
司会者名（所属）：松島格也（京都大学）	
討 議 内 容	セッション全体： 特になし
	（76）Jan-Dirk Schmoecke（東京工業大学）： 政策的含意の方向性について，質的データを用いて回帰分析を実施することの妥当性について，CVM で除外するようなサンプル（政府が出来ないから反対）の扱いについて質問があり，それぞれ発表者及び共著者より回答があった．
	（77）竹内彩（徳島大学）： 適用事例から得られた新たな発見，インタビューの方式，CB の利用状況，ステークホルダー選出にあたってのバイアス等について質問があり，インタビューのやり方の詳細について説明があった．
	（78）植村哲士（London School of Economics）： 持続可能性，世代間公平性の扱い，どのように活用するのかと関連してバイアスの扱いについて，コンジョイント分析の活用事例について質問があるり，ロジットモデルの線形性の仮定